

## 脳腫瘍について 〜早期発見の重要性〜



徳島大学脳神経外科講師

みづおか よしふみ  
溝渕 佳史氏

脳は手足を動かしたり、言葉を話したり、物事を考えたり様々な機能を持つ大切な臓器です。そのため、脳腫瘍の場合、できた部分の脳の働きが障害され、症状として現れます。脳腫瘍の症状として決まったものはありませんが、長く続く頭痛、突如の嘔吐、手足が動きにくい、視力や視野障害、認知症状が進むなどの様々な症状が出現します。脳腫瘍の治療には早期発見が重要で、早期発見により、後遺症が軽くなる場合もあります。治療法も手術で腫瘍を摘出するだけでなく、放射線治療や抗がん剤を併用することで、治療効果が高められます。異常を感じた場合は、脳神経外科の外来を受診し、専門医の診断を受け、医師の診断を受けることをお勧めします。



徳島大学病院がん相談支援センター  
がんの相談はこちらへ 相談窓口 Tel.088-633-9438

がん診療連携センター  
<http://www.tokudai-ganrenkei.jp>



徳島がん対策センター  
<http://www.toku-gantaisaku.jp>